

議会のうごき

4 月

1～4日 東北地方太平洋沖地震に伴う支援対策用務（青森市・盛岡市・仙台市）議長出席

5 月

9日 第2回町議会臨時会開会

9日 全員協議会

12～13日 檜山町村議会議長会総会（江差町）議長出席

18日 全員協議会

21～23日 札幌奥尻会第37回総会（札幌市）議長及び副議長出席

27日 総務産業常任委員会

6 月

3日 檜山総合開発期成会総会及び国道227号早期改良整備促進期成会総会（江差町）議長出席

9～11日 北海道離島振興町村議会議長会監査及び協議会、北海道町村議会議長会第62回定期総会（札幌市）議長出席

8日 議会運営委員会

15日 第2回町議会定例会開会

19～20日 佐藤孝行先生を偲ぶ会（函館市）議長出席

26～27日 第60回檜山管内消防総合訓練大会（江差町）議長出席

28日 総務産業常任委員会

28日 広報編集特別委員会

編集を終えて

早いものでこの原稿を書いている時期で、東北大震災から4ヶ月がたちました。地震・津波・原発災害が重なり、被災者の苦渋はいかばかりかと、胸の痛む毎日が続いています。

奥尻島も12日で災害から18年を迎えたことになり、東北地方大震災の影響もあってか、奥尻島における防災施設と復興までの道のりに大きな関心がよせられ、被災地からの自治体職員と議員の視察は、もちろんのこと、国土交通省の副大臣、国家戦略室の職員、国会議員、日弁連の震災担当弁護士、被災地の住民らの視察があとをたちません。新村町長、麓議長、議会事務局、役場職員らが一体となって真摯に対応しています。被災者をもっとも望んでいること、それは奥尻での被災の体験から明白ですが、住宅が建てられ、事業が再開できる希望が持てるかどうかにあります。

奥尻の視察によって得てほしいこと、それは政府を始めとする関係機関の被災者に寄り添う復興策です。

広報編集特別委員会（Y）